

SSKP
はばただより
vol. 85

編集 社会福祉法人おおぞら会 *アクティビティセンター* はばたけ

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9
TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

URL <http://habatake.jp/>



ルーキーズ・日比谷野音で演奏！

「4.22 小規模作業所の明日を開く全国大集会」プログラムにはばたけ のバンド「ルーキーズ」が登場。
場所は東京都千代田区・日比谷公園 “日比谷野外音楽堂”。
広いステージ、3000人の観客。最初は緊張気味でしたが、
曲が始まれば いつものエネルギッシュなルーキーズに。
ルーキーズは今後も各種イベントに出演予定。
オリジナルソングによる自主制作CDも制作中です。
どうぞご声援よろしくお願いいたします。

～ 施設長のひとりごと ～



「外国人の前に立つと、心臓がドキドキして立ちつくしてしまう」とテレビであるタレントが言っていた。この場合の外国人はおそらく欧米人だと思うが、僕もその一人だった。

大学浪人の時代、図書館通いをしていたのだが、時々バスの中で図体の大きな黒人男性と出くわした。はじめは恐さを感じたが、何かのきっかけで言葉を交わすようになった。ただ、片言の英語だから言いたいことがほとんど伝わらず、こちらはいつも欲求不満な上に、彼が「私の家に遊びに来ないか？」(たぶんそう言ったと思う)と誘ってくれたのに、ノーサンキュウとか言って断ってしまった。行きたい気持ちを素直に表現できず、「なんで断ってしまったんだろう」という後悔がしばらく続いた。結局その後彼とは会うこともなく、いつの間にか忘れていた。

最近、ジャン・プレイゲンス先生(ルーテル学院大学助教授)から「『英語の頭』をつくる本」をいただいた。この本の中に「人と人のコミュニケーションを可能にするものは、お互いが何かしら共通の経験をもつこと…(中略)。では、どうやって共通の部分をつくるか…(中略)、それには、まずお互いがちがう文化に属していることを認めたうえで、何がどうちがっているのかを見つけることから始めるしかありません。…」とある。ここで肝心なのは「お互いが」である。相手のことを理解するだけでなく、自分のことを相手に根気よく説明することもあるのだ。だから、僕のような人間は「はじめの一步」に少しばかりの勇気と忍耐が必要となる。

「文化のちがい」で言えば、なにも国籍の違う人間だけに限らない。同じ、日本人の間であってもその人の「文化」があって、必ずしも共通ではない。だから、同じように分り合う努力が必要なのだが、むしろ日本人どうしのほうがやっかいなことがあるように思う。とりわけ最近、情報はあってもコミュニケーションを必要としない「文化」に日本がなりつつあるから、「損得」や「規則」や「効率」が、ちがいを認め合うことより優先する。上野さと子氏(全国保育団体連絡会長)が「人格形成の基礎を培うべき乳幼児の保育には規制緩和や効率化はなじみません。」と述べているのも、そうした危機感からかもしれない。

僕は川で釣りをするからわかるのだが、護岸工事を施したまっすぐ流れる川には、様々な生き物が住みつかない。同じように、子どもの成長には、寄り道や立ち止まりが必要なのだろう。自分のことを相手に根気よく伝えながら、相手の違いを認めてきた者は、豊かな社会をつくる担い手になると思う。なぜなら、人と人とのコミュニケーションは、社会をつくる細胞みたいなものなのだから。

これは子どもに限ったことではないのだが、寄り道や立ち止まりの中に、是非障害を持った人との出会いを加えてほしい。ある意味で障害という「文化」のちがう者との交流は、共通の経験に高めることができれば、人としての豊かさを実感させてくれると僕は経験から確信している。

ただし、それには、少しの勇気と忍耐が必要だけどね。

(みうら あきお)



みんなの暮らし、自分の暮らし...

生活支援委員会・語ろう会

vol. 3

3号連続でお伝えした「生活支援・語ろう会」の取り組み。今回はその最後です。12・1月の「語ろう会」では、グループホームのビデオで実際の暮らしを見たり、周りの友だちとお互いの生活について話をする中で、自分がしたい暮らしってどんな暮らしだろう…とそれぞれの利用者が考えていき、イメージを膨らませていきました。…と、ここまでが前号でお伝えしたところです。

そして、2月。小グループで近隣の市のグループホームに行き、世話人さんに質問をしたり、お部屋を見せてもらい、3月にはその様子を各グループで発表し、感想を出し合いました。

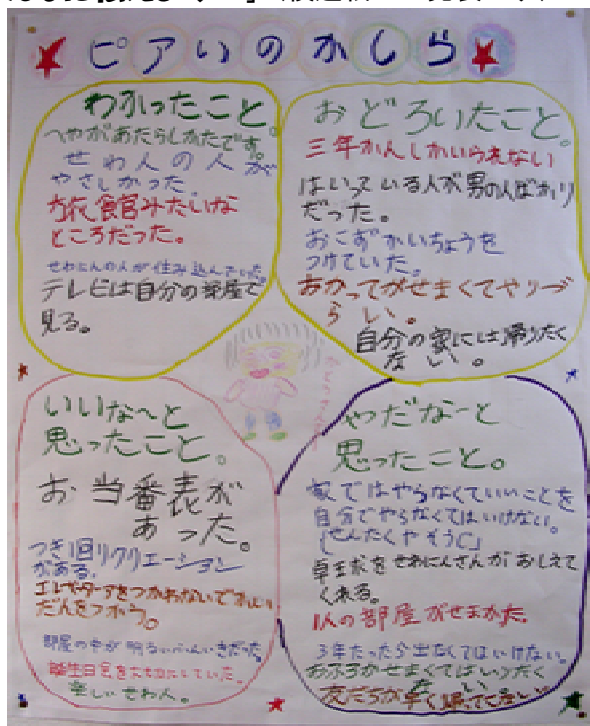
最初の考えと変わった人や、今まで抱いていた思いをより強くした人など、利用者の感想も様々…。しかし、この取り組みで、“人と意見を交わすこと”“自分で考えてみる”を通じ、確実にそれぞれが出した自分の答えへの自信・力強さが増したように思います。もちろん、まだ迷っている人もいますが、その迷いの中にも“探ろうとする力”を感じています。

「こうやって、小グループでお互いの思いを話すことは今までなかった。これからも続けて欲しい」…今回の“暮らし”についての「語ろう会」はひとまず終了ですが、このような利用者の声に答えるためにも、また新たなテーマで自分たちの生活を考える機会を作っていきたいと思っています。

Let's go! グループホーム

漠然と“見学”と言っても、何を見てくればいいのか戸惑う人も…。そこで“チェックシート”をつくり、話し合いの中で生まれた疑問・質問(「自分でやらなきゃいけないことって何?」「きまりはあるの?」「部屋の広さは?」etc…)をあらかじめ書いていき、それを元にお話を伺いました。でも、いざとなると緊張したり…。それでもしっかり見て、聞いて、感じてきました!

「みんなに伝えよう!」(模造紙での発表です)



- ★ それぞれのグループで撮ってきた写真をスクリーンに映しながら説明しました。

“お風呂は家と同じくらいでした”
“明るくて広かったよ”

- ★ 模造紙に部屋の間取図を書いたり、見てきたポイントを整理して、それぞれの感想を書いて発表しました。

“できないことは世話人さんが
教えてくれて、手伝ってくれるって
聞いたので安心した”
“世話人さんがやさしそうだった”
“ふつうの家みたいだったよ”

～今回おじゃましたのは、「ぴあ井の頭(三鷹市)」「すてっぷ(調布市)」「ゆうゆう(国立市)」「やはたハウス(武蔵野市)」の4ヵ所で、3年間までの体験型や重度生活寮など形態も様々でした。平日に伺ったので、居住者のみなさんとはお会いできませんでしたが、世話人さんがみんなに合わせて詳しく話をしてくれました。各ホームの皆様、ありがとうございました。～

＊利用者のページ＊

32 のこころ…感じてもらいたい!

はばただけ芸術展

三鷹市美術ギャラリー（4/20～25）

うれしいこと、悲しいこと、楽しいこと…はばただけの利用者のひとりひとり、“もっと自分を伝えたい”という思いを持っています。いろいろな思いを表現する方法は言葉だけではなく、むしろ絵画・音楽などを創造していく時に心から湧き出でるものに、その思いが現われることもあります。

はばただけでも、そういった自分を表現する楽しさや、思いが伝わる喜びを利用者の人たちに感じてもらいたい、…という願いから、表現活動をひとつの軸としてきました。授産活動にもなっている、手織りや紙すき、金曜日の午後、サークルの時間には、音楽・美術・運動などさまざまな形でなわわれています。

今回の「はばただけ芸術展」は、そんな日頃の活動の中から溢れだしたみんなの思いを、多くの方々に伝えられたら…と企画をしたものです。

4月20日（火）には「はばただけ芸術展オープニングセレモニー」が行なわれ、三鷹市より健康福祉部調整担当部長の大石田久宗様、そして三鷹市市議会副議長の丹羽秀男様とご来賓の方々より激励の言葉をいただき、また利用者と一緒にテープカットもしていただき、和やかな雰囲気の中での幕開けとなりました。

また、市議会議員の川原純子様、中村洋様も駆けつけて下さり、その他地域の方々、市内の作業所の皆様にもお越しいただき、利用者と一緒に作品を鑑賞しながら、話に花が咲きました。



「緊張のテープカット…うまく切れました！」

「この技法はすごいね」「きっとこれを描いた方は繊細な方なんですね」「この色彩はまねできないなあ」などたくさん感想をいただき、話をしているうちに利用者の人たちも背筋がキュッと伸びて、胸を張り笑顔になって、自信をもって自分の作品を紹介するようになっていました。

これからも、お互いが元気になるような、地域の方々との交流の機会をつくっていきたいと思います。

お忙しい中お越しいただいたご来賓の方々、お手伝いいただいたボランティアの方々にあらためてお礼を申し上げます。

そして、ご来場いただき、言葉をかけてくださった皆様、ありがとうございました！



思いのままに描きます

新メンバーの紹介です！



出会いの春…はばたけにも4月から新たに2名の仲間が加わりました。

2人の若いパワーに？刺激を受けて、ますます活気あふれる“はばたけ”です。

せきぐち ～ており班～

せきぐちです。よろしくお願いします。

～しゅみは、

ARASHIのコンサートのDVDを見る事や

ARASHIの曲をきく事や

Kinki Kidsの曲をきく事や

トキオの曲やV6の曲や

ビリケンの曲をきく事です。

～特技 CD・MD ラジカセのそうさが得意です。

☆はばたけのみなさん、MDのことがわからなかったら、K.Sさんまできてください！



かぎ ～ており班～

かぎさんから手書きのイラストとメッセージです。

名前のかぎです。
手書きのイラストとメッセージです。
お返事がす。



おおぞら会後援会ニュース



さわやかな春風とともに緑が香り、過ごしやすい季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、おおぞら会後援会も新しい年度を迎え、おおぞら会、ならびにアクティビティセンターはばたけの発展を願い支えていくために、さらに思いをひとつにし、組織強化を図っていきたいと思っております。

つきましては、2003年度後援会総会を、5月21日(金)PM7:00から開催したいと思っております。お忙しい中とは存じますが、ぜひご参加いただき、ご意見等いただければと思います。

また、2004年度後援会のご更新の時期となりますので、あわせてご協力のほど、よろしくお願いいたします。

★ 後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました

2004年分として、4月23日までの間に51名の皆様から新規ご入会・ご更新のお手続きをいただきました。心より御礼申し上げます。



● 後援会へのご入会・今年度分のご更新をお願いいたします ●

年会費 1口 個人 2,000円 団体 10,000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込み下さい。よろしくお願いいたします。

郵便口座 00160-0-39163

口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援

〈 訃 報 〉

はばたけのボランティアとして、長年ご協力いただいた福田正子さんが去る3月17日にご永眠されました。福田さんは、アクティビティセンターはばたけの前身である「はばたけ共同作業所」時代から、利用者・家族・職員にいつもあたたかい言葉をかけて下さり、寄り添い、現在勤めている職員よりもずっと長く、はばたけを支えつづけてくれました。そして、はばたけには福田さんの姿を見るとかけよっていく利用者がたくさんいました。

福田さん、本当に今までありがとうございました。そして、心よりご冥福をお祈りいたします。

アクティビティセンターはばたけ一同

活動日誌3月1日(月)～4月23日(金)まで

3月1日	(月) ており「心の織り展」～31日・むうぷにて	19日(金) 連続講座⑥(講師・福山和女氏)
2日	(火) 方針会議	20日(土) おおぞら会理事会。評議員会
4日	(木) 家族会懇談会	26日(金) 職員会議
5日	(金) 職員会議	27日(土) 井ロコミセン祭・参加
7日	(日) 東社協主催・福祉マラソン大会参加	4月1日(木) 出発式・家族会懇談会
9日	(火) 生活支援「かたろう会」	9日(金) 職員会議
12日	(金) 連続講座⑤(講師・西原雄二郎氏)	20日(火) はばたけ美術展(三鷹市美術ギャラリー)25日まで
17日	(水) 防災訓練・後援会施設見学	23日(金) 職員会議

◎来訪された方々

千葉工務店様 飯島正樹様 TKC 吉田様 高谷三鷹市市議会議員様 埼玉大学桜田様
相和建設・挽野様 武蔵野市役所中対様 府中朝日養護学校大和田様 小川クリニック小川様
福山和女様 日建工業片岡様 広瀬様

◎ボランティアの方々～いつもありがとうございます！

佐々木久人様 岡村正実様 末日聖徒キリスト教会様 榛澤様

新職員紹介コーナー

～4月から新たに常勤の職員が加わりました。
みなさん、よろしくお願いします！～

はじめまして、今年度から「はばたけ」で常勤として働くことになりました しばた と申します。
少々昔、近くの大学の寮に住んでいたこともあり懐かしく感じながら通勤しています。利用者の皆さんにも早速色々なアドバイスを頂いています。どうぞよろしくお願いします。



☆ 他にも最新情報は、はばたけのホームページでご覧になれます。4月・5月もイベント満載です！

知りたい方は <http://www.habatake.jp/> を今すぐクリック！

information

さあ、新年度です!

てすきの名刺で注目度UP!

てづくりのぬくもりが伝わる名刺はいかがですか!

はばたけのてすき職人たちが1枚1枚
ていねいに漉き上げた、てすきの名刺。
既製品にはない味わいがあり、あたた
かみがあると評判です。

公用に、また趣味のサークルや
お店の名刺にも最適です。

ロゴマークや地図なども対応いたし
ます。ぜひ、お気軽にご相談下さい!



★ てすきの紙は全部で6色! ★

定番の白のほか、ナチュラル・クリーム・
ブルー・ピンク・グリーンのパステル
カラーがあります。

★ 価格もお手ごろ! ★

版下代 500円

印刷(片面)黒単色 1枚20円

カラー 1枚25円

★ お問い合わせ ★

アクティビティセンターはばたけ
てすき班

TEL 0422-32-3234

FAX 0422-32-3274

[編集後記]

先日、はばたけの利用者・職員からなるバンド、「ルーキーズ」のCD製作のため、町田にあるスタジオにメンバー総出で行ってきた。普段の練習をはばたけの食堂で行っている僕らにとって、スタジオに入って・・・ましてやレコーディングを行なうなんて!と企画したとはいえ事前の不安は尽きなかった。録音形式もルーキーズの生の勢いを活かすため、「ワン・ツー・スリー!」の一発録音・ライブレコーディングにした。・・・そんなリスク覚悟の6時間一本勝負だった。メンバー全員、緊張や疲労でヘトヘトになったがエンジニアの方の助言もあり、生身のルーキーズの姿を録ることができたと思っている。連休明けには編集を終えたCDが届く予定である。さあ、結果はいかに!?(ト部)

発行 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

企画・編集 アクティビティセンターはばたけ

編集責任者	三浦 明雄	頒 価 50 円
編集委員長	伊東 暁子	
編集委員	ト部 禎生	
	深澤実希子	